

ボランティア委員会の活動

リサイクル収集

ボランティア委員会を中心にリサイクル活動に取り組んでいます。

年3回、ボランティア委員の呼びかけの元、各クラスで牛乳パック、エコキャップを収集。今年は、ペットボトルを使ってエコキャップの木を作成。生徒玄関前に設置し、収集を呼びかけました。

委員会でまとめた後は、リサイクル活動の会に寄付。

エコキャップの収益金は、ワクチンとして支援国へ贈られ、沢山の子供達の命を救っています。



エコキャップの木

サマーチャレンジ

ボランティア活動や福祉に対する関心を深める事を目的に、箕輪町社会福祉協議会が毎年夏休みに取り組んでいるサマーチャレンジ。今年の内容は、パラリンピックスポーツとイオンでの車いす体験。ボランティア委員会で参加しました。ふきはら祭ではその様子をまとめて掲示しました。



【編集後記】

福祉体験においても、ボランティア活動においても、障がいをお持ちの方や高齢の方、子ども達等、地域の様々な方と関わり合う姿がたくさん見られました。その中で、それぞれの方にとって大変な事もあればできる事もあること、その大変な事に対してはどんなお手伝いをしたら良いかなど、様々な事を感じた事だと思います。地域の中で、相手の立場に立って自分できることは何かを考え行動に移す、中学生の行動力に期待しています。

ふれあい広場

毎年、箕輪町社会福祉協議会が開催する「ふれあい広場」にボランティアとして参加。

今年は会場の装飾、スタンプラリー、体験コーナー、麦茶コーナー等をお手伝いしました。



福祉教育新聞



第4号

平成31年3月1日発行

発行：社会福祉法人箕輪町社会福祉協議会
地域ふれあいグループ

TEL: 0265-79-4180

協力：箕輪町立箕輪中学校

箕輪中学校での
福祉教育の取り組みを
紹介します。



ブラインドサッカー



どうすれば
相手に伝わる?
チームワークの大切や
障がいを持つ方の
理解を深めよう!!

なかざわ おさむ
講師の中澤 医さん
視覚障がい者サッカーチーム
「長野レインボー」の代表。
坂城町から来てくださいました。

ブラインドサッカーって?

視覚障がいを持った選手がプレーできるよう
に考案されたサッカーです。

ボールは?

転がると音が出る特別なボールを使用します。
フットサルボールと同じ大きさです。

勝負のカギは?

選手同士の声の掛け合いも含めたコミュニケーション。



《福祉について学習しました》

箕輪中学校では、毎年1年生が様々な福祉体験に取組んでいます。

今年の体験項目は、福祉施設訪問、ブラインドサッカー、手話体験、車いす体験、点字体験。

7月18日の1時限目～4時限目を使ってじっくり体験しました。

《福祉体験のねらい》

- ①相手の立場に立って考えることができる。
- ②地域の福祉に触れることで、福祉への興味関心を高めることができる。
- ③地域で働く人の仕事や思いに触れ、「働くこと」への興味関心を高めることができる。
- ④自己肯定感を高め、地域に貢献する心を養うことができる。

《生徒の感想》

- ・障がいの方々も楽しめるスポーツがある事を知りました。
- ・声をかけ合い、コミュニケーションを取ることを心がけていると、ブラインドサッカーの楽しさがわかつてきました。
- ・相手に伝わるように声をかけなければいけないこと、伝え事の大切さがわかりました。
- ・目の見えない人の気持ちになり他の人の力を借りたり、コミュニケーションを取る中で、相手の立場になって考えることの大切さに気付けました。

視覚障がいの理解を深めよう！

点字体験



講師の飯塚さん、伊那市から来て頂きました。

身の回りにある点字を知ろう。
点字で名刺を作つて自己紹介しよう。
体験の感想も点字で書いてみよう。



点字で作った名刺で飯塚さんに自己紹介

《生徒の感想》

- 自分が打った点字を飯塚さんに読んでもらえた時がとてもうれしかったです。
- 点字は難しかったですが、目が不自由な方にとってはとても必要な物だとわかりました。
- 飯塚さんは目が不自由でも当たり前のように過ごされていてすごいと思いました。

聴覚障がいの理解を 深めよう！



手話体験



講師の江口さん、小林さん、尾曾さん(箕輪手話サークル)



一人ずつ名前の表し方も教わりました。

《生徒の感想》

生徒の感想

- 講師の先生の普段の生活の様子を聞いて、とても苦労されているんだなと思いました。
- 耳が不自由な方とも手話で通じ合えるということがわかりました。
- たくさんの手話を覚え、自己紹介ができるようになりました。
- 色々な物をイメージして手と表情で表すのは楽しかったです。いつか手話で会話がしたいと思っています。



教わった手話で自己紹介。



点字の打ち方は、「点字学習会すばる」の方に教えて頂きました。



利用者さんと一緒に花札やトランプ。



職員さんのお話から、認知症の理解を深めよう。
レクリエーションや食事の準備を通して、
お年寄りと交流しよう。



講師のわかな職員城倉さんと鈴木さん。
認知症について寸劇でわかりやすく説明していただきました。

《生徒の感想》

- お年寄りの方々から感謝の言葉や笑顔をもらって、自分自身も元気になれると思いました。
- 人の立場に立って相手に嫌な思いをさせないよう行動する事の大切さを学びました。
- それぞれ個性がある中で、どんな人でも受け入れられるような優しい心を持って人と接したいと思いました。
- 今まで思っていた介護は暗いイメージでした。実際にやってみたらとても楽しかったし、人に尽くせるとてもやりがいのある仕事でした。機会があればまたやりたいと思いました。
- お年寄りの方を笑顔にしたいというスタッフの方々の願いも知りました。



《めざす生徒像》

確かな学力 / 確かな学力を身につけ自発的に学習に取り組む生徒
豊かな心 / 自他の良さを認め合い、支え合う、思いやりの心を持った生徒
心身の鍛錬 / 心身を鍛え、自信を持って自分の夢に挑戦していく生徒

肢体障がいの理解を 深めよう！

車イス体験

車いすでも楽しめるレクリエーションを体験しよう。
車いすに乗って校外を移動してみよう。
障がいを持った方々の日常のバリアに気付こう。



体育館で練習してから校外を車いすで移動。



講師の藤澤さんに質問中。



箕輪中学校
安部元彰先生



車イスでバスケットボールに挑戦。
なかなか思い通りにいきません。

《生徒の感想》

- 車いすに乗らないと感じられない事が分かったし、正しい使い方もわかりました。
- 実際に校外を車いすで動いてみると、いつも歩いている道がとても大変に感じました。
- 講師の藤澤さんから「車いすの人をじっと見ていると、見られている方は悲しい気持ちになる」という話がありました。声をかける勇気を持ちたいです。
- 講師の藤澤さんの「声をかけてもらえるとうれしい」という言葉が強く印象に残っています。自分にも車いすの人達に何かできる事があるのではないかと気づかされました。